

明日は青空

中平ひとし事務所会報

岩手県議会議員

中平ひとしの活動報告

県政報告版

No.10

発行
中平ひとし事務所

発行者
中平ひとし
久慈市本町1-7
tel 53-0111

緊縮型予算・問われる効率的な財政運営

岩手県議会議員

中平ひとし

皆様におかれましてはつつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年来のご厚情に改めて感謝申し上げます。本年も変わらぬご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

昨年12月に開催された県議会は、皆様ご存知のように競馬組合の問題が、大きく取り上げられました。私が所属する農林水産委員会への付託案件でもあり、あらゆる視点から質疑を致しました。また、最終日の本会議では、競馬組合に対する補正予算50億円は賛成少数で否決されました。否決に至った経緯の詳細については、本誌2面に記載致しましたので、ご覧いただいた上、ご意見など頂ければ幸いです。

さて、この度、私が所属する民主党では、予定される次期衆議院岩手2区の候補者として、地元久慈市大川目町の畑浩治さんを擁立することとなりました。『故郷久慈を

岩手を、そして先行き不透明な日本の現状を何とかしたい』との思いで決意した畑さんに、私たちの思いを託したいと強く願っています。

県議会は、2月18日から平成17年度予算審議を含む2月定例議会が始まります。

緊縮型の予算編成は避けられない状況にあり、こうした状況下において、いかに限られた予算を効率的に県民福祉に向けて配分するかが大きな焦点になります。私は、これまで一般質問等において、公共事業のあり方や調整の必要性を訴えてきましたが、来年度より県においては道路・海岸・下水道事業において、予算費目（県道と農道、公共下水道と集落排水事業など）ごとに分かれていた担当課を一本化する方向にあります。従来手法にとらわれない視点にたつての予算編成を求めていく考えであり、そのためには、投資効果の検証を怠りなく続けて参る考えです。私たちが県の施策によつて生活が良くなつたと、結果として実感できる社会にするため初心を忘れず、皆様と共に、地域の発展のために活動して参ります。

今年の県議会も課題は山積みです。出資法人の問題や、県立高校再編、大詰めを迎えている市町村合併、三位一体改革にまつわる地方自治の在り方など、県行政の主体性が問われています。



県政報告会・後援会総会を開催します

日時 平成17年2月20日(日) PM5:00より
場所 久慈グランドホテル

お知らせ

詳細は中平事務所 (TEL53-0111, FAX53-0136) まで
○お誘い合わせの上皆様の参加をお待ち致しております。

12月県議会定例会トピックス

競馬組合への50億円融資補正予算否決

「岩手県競馬組合に対して50億円を貸し付けること」を内容とした補正予算は、賛成7・反対41の賛成少数で否決されました。

当初、市中銀行より県資金を借り入れたほうが、金利負担が少なく経営改善につながるの見通しに立ち、本年度から平成25年度まで貸付・返済を繰り返すというもので、本年度は50億円融資したいとの説明でした。

しかし、審議が進んでいく中、組合運営の資金繰りが苦しく、今回手当しないと収支が破綻するとの理由に変わってきました。加えて競馬組合の改革実行計画の実現性や説明資料に疑問や不手際が指摘されるとともに、今までの経営責任のあり方も示されたとはいえない状況であり、終極には、否決されるに至りました。

議会前半においては賛否にこれほど差がつくとは思いませんでしたが、審議が深まるにつれ、側の答弁のずれや、不利な資料の非開示など、対応のまずさによって、日に日に反対者が増えていく雰囲気でした。

2月定例会においても本件に関わる議案の提出が予想されます。はたして競馬組合の再建可能な計画が提示されるかが焦点です。

54年ぶりの議員提案による条例制定

「プレジャーボート等に係る水域の適正な利用及び事故の防止に関する条例」が議員発議により成立しました。議員提案の政策的な条例では、1950（昭和25年）年の自転車登録条例以来54年ぶりとなります。

県議会としてはじめて、久慈をはじめ、宮古・釜石で地域説明会を開催しました。

今回の条例制定は、モーターボートやヨット、水上バイクをはじめ、エンジンのついていないヨット、カヌーを対象とし、水域の適正利用や事故防止、不法係留の抑制など総合的な対策を盛り込んだ条例であり、施行は平成17年7月1日からとなります。プレジャーボートと漁船の協調による適正な水域利用を図る条例は全国でも初めてのことです。

県北沿岸においても問題となっていた課題であり、今後は条例の趣旨をいかに具体的に生かせるかが注目される所です。



平成15年度 決算議会関連

平成15年度決算委員会における質疑の概要

内陸とのアクセス・横断道を軸に

質問：平成15年2月・県政満足度調査によれば、沿岸地域の満足度は低い。要因をどう捉えているか。

答弁：〔県土整備部長〕高速道路や新幹線、空港の整備や日常生活圏内市町村へのアクセスなどに関し、沿岸部の満足度が低い結果が出ている。これは交通ネットワークや内陸部との高速ネットワークが十分整備されていないことによるものと考えます。内陸とのアクセス・横断軸を考えて行きたい。

質問：行政執行上、類似テーマ事業の部局間調整について何う。（下水道、集落排水、県道など）公共事業の執行には技術的面からも、共通性がある。縦割り行政の弊害でもある。来年度から組織改正の方向と承知しているが、今後の方向を何う。

答弁：〔総合政策室長〕政策形成・予算編成システムなど部局横断的課題に的確に対応し、総合力を高める施策の立案・推進に努めている。例えば農林水産部、商工労働観光部の連携によるなど工夫している。また、部局横断的新しい政策や課題は「政策形成会議」を設置し「国際経済交流推進プロジェクト」を立ち上げるなど、縦割り行政の弊害を排除するため意識改革が肝要。組織については、総務部と相談の上対応する。

リピーター対策を進めたい

質問：先に港湾議員連盟で大連を視察した際、花巻空港へチャーター便で観光客を送り込みたいとの情報があったが「岩手だけでは難しい」との感触。大切なのは観光ルートの開発「もう一度岩手へ：リピーター」対策がほしい。対策

民主党衆議院2区候補者に 畑 浩治氏決定

1月3日、畑浩治氏の記者会見が開かれました。「激動の世界の中、日本の政治状況は混沌としており、このような状況下で重要なことは明確な理念と施策をもって、実践していくという問題意識をもっていた。かねてから政治姿勢に強く共感を持っていた小沢先生と直接お話しする機会を頂き、新しい道で頑張りたいという気持ちになった。役所の枠を超え、政治の世界で幅広い仕事に取り組みたい」、「岩手2区は私のふるさと、素晴らしい資源と素晴らしい人々がいるところ。ただ残念ながらその資源を活かし切れているとはいえない。今後は資源を活かしながらよりよいものを作って行きたい」と決意を述べました。

また、小沢一郎民主党副代表 県連最高顧問は、「若くて素晴らしい候補者を見出すことができ、良かったと思っている。彼はいわゆる社会生活の環境基盤整備ということを中心に仕事としてきており、岩手にとっても2区地域住民のみなさんにとっても、役に立てる議員になれるのではないだろうかということで、大変期待をしている。」と語りました。

○畑 浩治 (はた こうじ)

久慈市大川目町生まれ41歳 大川目小学校、同中学校卒、県立盛岡第一高等学校卒、早稲田大学法学部卒国家公務員I種(法律職)試験合格、87年建設省(現国土交通省)入省、近畿地方建設局道路部路政課長、在ドイツ日本大使館一等書記官、独立行政法人都市再生機構営業推進室チームリーダー、05年国土交通省退職



新年度予算の方向を探る

17年度予算総額 7649億円

前年比 150億円のマイナス

岩手県は、2月上旬開会の定例県議会に提案される平成17年度一般会計予算案の概要を公表しました。

総額7649億円で、前年度比150億円の減、伸び率にして1.9%の落ち込みとなる見通しです。これは平成13年度の9千億円台をピークに1千億円余の減少となり、4年連続マイナスとなるものです。部局別予算配分の状況は、前年比で別表のとおり。

別表 一般会計 (単位: 億円)

部局別(抽出分)	17年度	16年度当初	増減額	伸び率%
地域振興部	242	212	30	14.2
環境生活部	86	68	17	26
保健福祉部	967	935	32	3.4
商工労働観光部	572	663	△90	△13.6
農林水産部	878	911	△3	△3.6
県土整備部	984	1015	△32	△3.1
総合雇用対策局	1.8	14	△12	△86.7
総務部	2011	2070	△59	△2.9
教育委員会	1561	1557	3.5	0.2
その他委員会等	x	x	x	x
総予算額	7649	7798	△150	△1.9

県勢の現状に照らし、産業振興や県土の整備に関わる投資的経費が、押しなべてマイナス。地方の景況は依然として停滞指向にあり、財政危機は紛れもない現実となり、昭和30年前後の財政危機を凌ぐ状況。県財政の根幹を占める依存財源・地方交付税配分額は4年連続の減少となり、先行きに明るさが見えない状況にある。

別表が示すように、財政配分にくめんの後がアリアリ。16年度の税収入は過去3年連続減から脱却された予算となり得るのか。2月の予算議会は昨年にも増して地方分権と主体的行財政運営のありようが問われる。

答弁…【商工労働観光部長】大連市の旅游局長が来県した際「岩手の内陸は見たが、三陸海岸などは非沿岸部を考えた」と。

来年度内を広く案内したい。さらにリピーター対策の取り組みをしたい。

質問…中国経済交流事業、国際観光推進事業など推進しているがどう捉えているか。

答弁…【観光経済交流課総括課長】上海(東北フェアin上海)、台湾(観光ミツシオン派遣)、ソウル(観光商談会、本県への温泉・ゴルフ・スキー関連の商品化)シンガポール(バイヤーの招聘)で、本県企業に参加し商談成立など成果があらわれつつある。

22年に向けて努力する

質問…90分構想(広域圏中心城市盛岡までの時間距離)は、県土の均衡を図る県政の重要課題だ。目標数値は、併せて進捗状況をどう捉えているか。

答弁…【道路建設課長】平成10年度および中間年次とも目標は達成しているが、今後とも本構想達成22年度に向けて、努力してまいらる。

通信業者の意向を踏まえ努力したい

質問…IT(情報技術)関連予算の執行状況と17年度予算への反映について伺う。

答弁…【地域振興部長】県民利用向けについては、国庫補助事業により携帯電話不感地域の解消を図っている。高速インターネット環境整備は、県単補助事業を充て6市町村を整備したところである。17年度予算への反映については、民間事業者が採算上困難である条件不利地域については、必要な予算を計上。また、携帯電話、ブロードバンドサービス提供については、予算の多寡のみならず通信業者側の意向を踏まえ、事業者への要望等も含め引き続き努力したい。

天変・地変・人変

～反省と備えで憂いなし～

中平均後援会 会長 梶田民夫



皆様には良い年を迎えられたこととお慶び申し上げます。いつも後援会に対しまして、ご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。衷心よりお礼を申し上げます。

昨年の世相が「災」の字に代表されたように、内外ともに天変地異・天変地変が続発し、まさに地球が病んでいる状態でありました。

これら天災を「天変」「地変」とすると、次に来る人災「人変」のほうはどうだったでしょうか。国際紛争、拉致問題、凶悪犯罪、汚職等々、これらはまさに人災といわず何でしょうか。「人変」と呼ばせていただいたゆえんです。

昨年11月、スイスの民間経済研究機関が64カ国5万2000人の世論調査の結果を発表しています。その中で、全回答者の63%は政治指導者が「不誠実」と答えております。さらに日本が属するアジア太平洋地域では実に73%にも及ぶとのことでした。

政治不信を起こしている原因の多くが、政策以前にあることは大変不幸なことであり、選ぶ側の責任も痛感しているところです。

さて、地域経済が依然厳しい環境にある中、県議の任期も折り返し地点にかかりました。長距離レースはペース配分が必要と思われませんが、いよいよ後半に向けてスパートに入る期間でもあろうかと思えます。

県議には初志である「住民あつての政治」を実現するために2ヶ年の経験と実績を踏まえ、更なる前進を目指してもらいたいと思っています。

我々後援会と致しましても、ゆるぎない体制の構築に努め、広く支援者拡大のため、日常活動を続けていきたいと考えています。

皆様には今後とも一層のご支援・ご高配を賜われますよう、よろしくお願い申し上げます。

会報は今後随時発行します。中平に対するご意見・ご要望などをお寄せ下さい。

12月議会の報告を中心に会報を作成しました。今回記事を作るにあたり、インターネットで質問と答弁を確認。動画を見ながら改めて情報化社会の恩恵を感じる。しかし県内、特に北地域のIT化はまだ。未整備地区への取り組みに全力を尽くしたい。15年度決算委（別掲2面下段）で、沿岸部の県政満足度の低さと要因を質したら、県当局は、高速道、新幹線の便益の低さと、横断軸の整備にふれました。期待したい。

さて、次の議会はH17年度予算審議。財政が厳しいと言いつつ、予算の使われ方は改善の余地あり。縦割り行政の壁を乗り越えてこそ、財政再建への第一歩。

編集後記

中平ひとし事務所からの「お知らせ」

12月議会において審議されたH15年度決算書、同付属資料、主要施策の成果に関する説明書、その他議会における質疑答弁関連資料等を、ご覧頂けるよう準備しておりますので、お気軽に事務所にお立ち寄り下さい。

中平ひとし事務所

住所 〒02810052

岩手県久慈市本町一七

電話 〇一九四一五三一〇一一

FAX 〇一九四一五三一〇二三六

《《 <http://www.nakatai.net>
e-mail:hitoshi@nakatai.net

